



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2019年10月29日

上場会社名 株式会社 アサックス

上場取引所 東

コード番号 8772 URL <https://www.asax.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 草間 庸文

問合せ先責任者 (役職名) 総務統括部長 (氏名) 松川 雅一

TEL 03-3445-0404

四半期報告書提出予定日 2019年11月1日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	2,812	7.6	1,923	10.9	1,924	10.9	1,245	10.8
2019年3月期第2四半期	3,041	1.5	2,158	3.7	2,159	3.9	1,396	4.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	37.76	
2019年3月期第2四半期	42.34	

(注) 当社は、2018年7月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	71,203	35,916	50.4
2019年3月期	71,475	35,165	49.2

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 35,916百万円 2019年3月期 35,165百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		15.00	15.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,721	4.7	3,934	7.8	3,934	7.8	2,555	7.5	77.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	32,980,500 株	2019年3月期	32,980,500 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	4,500 株	2019年3月期	4,500 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	32,976,000 株	2019年3月期2Q	32,976,000 株

(注) 当社は、2018年7月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期中平均株式数」を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益の底堅さと、雇用・所得環境の改善が続くなかで、引き続き緩やかな回復基調で推移した一方で、米中の貿易摩擦問題や海外における地政学的リスクが国内経済に与える影響が懸念され、先行きは不透明な状態にあります。

不動産金融市場においては、都心近郊における住宅地・商業地の地価は引き続き堅調であるものの、先行きについては、過熱感への懸念や建設コストの動向等の影響に留意する必要があります。

このような環境の下、当社においては、従来通り「債権の健全性」を重視した顧客開拓を行った結果、当第2四半期末における営業貸付金残高は、前事業年度末の67,837,042千円から27,631千円(0.0%)減少の67,809,410千円となりました。

当第2四半期累計期間における経営成績は以下の通りです。

営業貸付金利息は、期中平均営業貸付金残高が前年同四半期比0.5%の増加となったものの、当事業年度より貸出金利の上限を引き下げたことによる平均貸出利率の低下等が主因となり、前年同四半期比201,725千円(8.4%)の減少となりました。

その他の営業収益は、保証事業に係る収益が増加となったことにより、その他が前年同四半期比21,006千円(24.7%)の増加となったものの、前年同四半期において計上があった不動産売上高36,000千円が、当第2四半期累計期間においては計上がなかったこと等により、前年同四半期比27,986千円(4.3%)の減少となりました。

以上により、当第2四半期累計期間における営業収益は、前年同四半期比229,711千円(7.6%)の減少となりました。

金融費用は、期中平均有利子負債残高が前年同四半期比5.7%の減少となり、平均調達金利も低下したことにより、前年同四半期比38,109千円(20.2%)の減少となりました。

売上原価は、不動産売上高と同様に、前年同四半期において計上があった不動産売上原価が、当第2四半期累計期間においては計上がなかったことにより、35,220千円の減少となりました。

その他の営業費用は、株主関連費用の増加や、本社の改装に係る費用の計上等により、前年同四半期比78,092千円(11.8%)の増加となりました。

以上により、当第2四半期累計期間における営業費用は、前年同四半期比4,763千円(0.5%)の増加となりました。

営業外損益、特別損益ともに利益に大きな影響を与えるものはなく、法人税等合計は、前年同四半期比84,609千円(11.1%)の減少となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間における業績は、営業収益は2,812,261千円(前年同四半期比7.6%減)、営業費用は888,686千円(同0.5%増)となり、営業利益は1,923,575千円(同10.9%減)、経常利益は1,924,723千円(同10.9%減)、四半期純利益は1,245,442千円(同10.8%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の部

流動資産

当第2四半期会計期間末における流動資産は、前事業年度末の70,741,913千円から262,457千円(0.4%)減少の70,479,456千円となりました。これは主として、現金及び預金が370,441千円(14.6%)減少したこと等によるものです。

固定資産

当第2四半期会計期間末における固定資産は、前事業年度末の733,948千円から9,579千円(1.3%)減少の724,368千円となりました。これは主として、減価償却費の計上によるものです。

② 負債の部

流動負債

当第2四半期会計期間末における流動負債は、前事業年度末の13,292,111千円から13,013千円(0.1%)減少の13,279,097千円となりました。これは主として、1年以内返済予定の長期借入金が109,850千円(0.9%)の増加となったものの、未払金が32,223千円(48.9%)の減少、未払法人税等が85,566千円(10.6%)の減少となったこと等によるものです。

固定負債

当第2四半期会計期間末における固定負債は、前事業年度末の23,018,079千円から1,009,826千円(4.4%)減少の22,008,253千円となりました。これは主として、長期借入金が1,014,651千円(4.6%)の減少となったこと等によるものです。

③ 純資産の部

配当金の支払い494,640千円があった一方、四半期純利益を1,245,442千円計上したことにより、利益剰余金が前事業年度末比750,802千円(2.3%)の増加となり、当第2四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末の35,165,670千円から750,802千円(2.1%)増加の35,916,473千円となりました。なお、自己資本比率は50.4%(前事業年度末は49.2%)となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2019年4月25日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,538,408	2,167,966
営業貸付金	67,837,042	67,809,410
販売用不動産	8,138	19,540
前払費用	22,694	28,950
その他	409,631	528,588
貸倒引当金	△74,000	△75,000
流動資産合計	70,741,913	70,479,456
固定資産		
有形固定資産	98,193	108,893
無形固定資産	42,993	36,555
投資その他の資産		
破産更生債権等	36,787	36,229
その他	570,773	564,590
貸倒引当金	△14,800	△21,900
投資その他の資産合計	592,760	578,919
固定資産合計	733,948	724,368
資産合計	71,475,862	71,203,825
負債の部		
流動負債		
1年以内返済予定の長期借入金	12,322,794	12,432,645
未払金	65,913	33,689
未払費用	45,524	38,621
未払法人税等	804,133	718,566
預り金	16,876	15,508
前受収益	9,813	8,341
賞与引当金	27,033	30,321
その他	23	1,404
流動負債合計	13,292,111	13,279,097
固定負債		
長期借入金	21,927,502	20,912,851
退職給付引当金	85,400	88,200
役員退職慰労引当金	984,188	986,813
その他	20,989	20,389
固定負債合計	23,018,079	22,008,253
負債合計	36,310,191	35,287,351
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,307,848	2,307,848
利益剰余金	32,859,072	33,609,875
自己株式	△1,250	△1,250
株主資本合計	35,165,670	35,916,473
純資産合計	35,165,670	35,916,473
負債純資産合計	71,475,862	71,203,825

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業収益		
営業貸付金利息	2,396,406	2,194,680
その他の営業収益	645,566	617,580
営業収益合計	3,041,973	2,812,261
営業費用		
金融費用	188,376	150,267
売上原価	35,220	—
その他の営業費用	660,325	738,418
営業費用合計	883,922	888,686
営業利益	2,158,050	1,923,575
営業外収益		
受取利息	11	10
関係会社貸付金利息	293	309
受取手数料	2,153	651
雑収入	523	177
営業外収益合計	2,982	1,148
営業外費用		
固定資産除却損	1,331	—
営業外費用合計	1,331	—
経常利益	2,159,701	1,924,723
特別利益		
固定資産売却益	780	187
特別利益合計	780	187
税引前四半期純利益	2,160,481	1,924,910
法人税、住民税及び事業税	770,128	684,725
法人税等調整額	△6,050	△5,256
法人税等合計	764,077	679,468
四半期純利益	1,396,403	1,245,442

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	2,160,481	1,924,910
減価償却費	16,059	16,022
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,700	8,100
賞与引当金の増減額(△は減少)	4,179	3,288
退職給付引当金の増減額(△は減少)	1,900	2,800
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	2,625	2,625
固定資産売却損益(△は益)	△780	△187
固定資産除却損	1,331	—
受取利息	△305	△319
営業貸付金の増減額(△は増加)	2,346,470	27,631
破産更生債権等の増減額(△は増加)	—	558
販売用不動産の増減額(△は増加)	33,720	△11,402
未払消費税等の増減額(△は減少)	△6,001	△3,570
未払法人税等(外形標準課税)の増減額(△は減少)	△34,320	△37,232
その他の資産の増減額(△は増加)	127,135	△108,796
その他の負債の増減額(△は減少)	△8,564	△39,688
小計	4,641,231	1,784,740
利息の受取額	305	319
法人税等の支払額	△712,243	△733,059
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,929,293	1,051,999
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△18,413	△19,863
有形固定資産の売却による収入	780	187
無形固定資産の取得による支出	△1,001	△421
敷金の回収による収入	898	23
敷金の差入による支出	△3,442	—
関係会社貸付けによる支出	—	△5,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△21,179	△25,073
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	3,000,000	5,600,000
長期借入金の返済による支出	△6,561,348	△6,504,800
配当金の支払額	△492,942	△492,567
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,054,290	△1,397,367
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△146,175	△370,441
現金及び現金同等物の期首残高	2,855,199	2,538,408
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,709,023	2,167,966

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。